

国際地震工学センター ニュースレター 第 83 号 2012 年 8 月 20 日発行

+++++Contents+++++

1. 第 4 回中国耐震建築研修が閉講
2. IISEE Bulletin 2013 投稿募集
3. 情報更新への協力をお願い
4. 名誉称号受賞者からの返事 (抄)
5. 8 月 11 日イラン北西部地震

+++++
=====

[1] 第 4 回中国耐震建築研修が閉講

第 4 回中国耐震建築研修が 7 月 31 日に終了し、18 名の研修員が無事、帰国しました。参加した研修員からは「日本の耐震設計法の考え方は中国でも参考になる」、「日本で学んだ免震や制振の技術を帰国後に生かしたい」といった好意的な意見が多数寄せられました。

残念ながら、中国耐震建築研修は今回が最後となります。2008 年の中国四川地震の翌年に開始されて以来、これまでに中国全土から総勢 72 名の構造技術者が本研修に参加しました。研修を通じて学んだ知識が中国の建物の耐震安全性の向上に生かされることを強く期待しています。

斉藤 大樹
国際地震工学センター上席研究員

[2] IISEE Bulletin 2013 投稿募集

貴方の研究成果を IISEE ブレティンで刊行してください。

i) 現在、2013 年号の特別論文を募集中です。

http://iisee.kenken.go.jp/bltndb/links/Call_for_Special_Articles.pdf

ii) 通常の論文の投稿も歓迎致します。

<http://iisee.kenken.go.jp/?p=public>

いずれの場合も、貴方の投稿論文は印刷され、また web 上で公開されます。

IISEE Bulletin Editorial Office

[3] 情報更新への協力をお願い

建築研究所の国際地震工学センターでは、地震防災技術に関する情報ネットワーク (IISEE-NET)を公開しています。いくつかの情報は時代遅れになっているため、特に以下の URL にある耐震基準に関して改訂をしたいと思えます。

http://iisee.kenken.go.jp/net/seismic_design_code/index.htm

ついでには、設計用地震力の定義に関する最新の情報をメールでお送りください。

(宛先 : bri-office@kenken.go.jp)

斉藤 大樹 (博士)

国際地震工学センター上席研究員

[4] 名誉称号受賞者からの返事 (抄)

IISEE 名誉科学者 (コロンビア)

日本にまるまる一年間滞在し、その美しさ、文化、知識や日本人の精神的強さを、実感できたことはとても幸せでした。2011年3月11日の東北地方を襲った大津波の際には、私の思いと方策を国地センター宛に書きました。私たちの心には、国地センターと日本のすべての人がいます。

(レネ・バン・イッセンハーベン 1970-1971 地震学コース)

IISEE 名誉技術者 (インドネシア)

国際地震工学センターの名誉技術者をいただき、とても誇りに思います。国地センターの50周年記念が成功裏に終わったことと、近い将来日本を訪れる機会がある際に、そちらで特別講義が出来ることを望みます。

(テディ・ブーン 1962-1963 地震工学コース)

[5] 8月11日イラン北西部地震

イラン北西部の東アゼルバイジャン州で8月11日、マグニチュード6超の地震が2回発生、多数の家屋が倒壊し、死者300人以上、負傷者3000人以上と発表されています。イランの国際地震研究所(IEES)のアシュティアニ所長から国際地震工学センターに次の関連情報を紹介いただきました。

<http://ieea.ir/>

亡くなった方のご冥福を祈ると共に、被災地の早期の復興を祈念します。なお、和文では日本地震工学会が以外の情報サイトを立ち上げています。

<http://www.jaee.gr.jp/jp/disaster/2012iran/>

安藤 尚一 (博士)

国際地震工学センター長

このニュースレターは、これまでの研修生（英語メールのみ）と関係者の方々にお送りしています。
皆様のご意見や情報をお待ちしております。（編集：J.S.）

Email: iiseenews@kenken.go.jp

website: <http://iisee.kenken.go.jp>

ニュースレター バックナンバー : <http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>
